



Cisco ASA 5506-X、ASA 5506W-X、および ASA 5506H-X ハードウェア設置ガイド

初版：2015年4月7日

最終更新：2021年11月22日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

Text Part Number: オンラインのみ

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（ www.cisco.com/jp/go/safety_warning/ ）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2015-2021 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

第 1 章

概要 1

ASA 5506-X、ASA 5506W-X および ASA 5506H-X について 1

パッケージの内容 3

前面パネル 5

背面パネル 5

LED 9

ネットワーク ポート 11

コンソール ポート 11

内部および外部フラッシュ ストレージ 12

ソリッドステート ドライブ 13

電源モジュール 13

ハードウェア仕様 13

電源コードの仕様 15

第 2 章

インストールの準備 21

設置に関する警告 21

ASA の配置 23

ASA 5506W-X の取り付けと設置の準備 23

安全に関する推奨事項 24

電気製品を扱う場合の注意 24

静電破壊の防止 25

設置場所の環境 25

サイトの考慮事項 26

電源モジュールに関する考慮事項 26

ラックの構成に関する考慮事項 26

第 3 章

シャーシの取り付け 29

シャーシのデスクトップ マウント 29

シャーシの壁面取り付け 30

シャーシのラックマウント 32

ASA 5506H-X の DIN レールへの取り付け 37

第 4 章

コンソールポートへの接続 41

Microsoft Windows でのコンソールポートへの接続 41

Mac OS X でのコンソールポートへの接続 44

Linux でのコンソールポートへの接続 44

第 5 章

設置、メンテナンス、アップグレード 47

5506H-X の DC アダプタを接続する 47



第 1 章

概要

- ASA 5506-X、ASA 5506W-X および ASA 5506H-X について (1 ページ)
- パッケージの内容 (3 ページ)
- 前面パネル (5 ページ)
- 背面パネル (5 ページ)
- LED (9 ページ)
- ネットワーク ポート (11 ページ)
- コンソール ポート (11 ページ)
- 内部および外部フラッシュストレージ (12 ページ)
- ソリッドステートドライブ (13 ページ)
- 電源モジュール (13 ページ)
- ハードウェア仕様 (13 ページ)
- 電源コードの仕様 (15 ページ)

ASA 5506-X、ASA 5506W-X および ASA 5506H-X について

Cisco ASA 5506-X、ASA 5506W-X、および ASA 5506H-X 適応型セキュリティ アプライアンスは、次世代ミッドレンジ ASA である ASA 5500-X に属し、ASA ファミリの他の製品と同じセキュリティプラットフォームで構築されています。

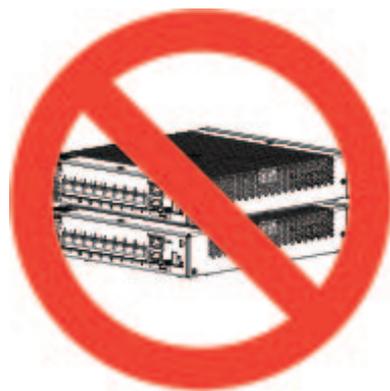


(注) ASA 5506-X には、出荷時に ASA または Firepower Threat Defense ソフトウェアがプリインストールされています。デバイスを再イメージ化するには、『[Reimage the Cisco ASA or Firepower Threat Defense Device](#)』を参照してください。

この次世代 ASA は、ネットワークへの脅威を今までにないレベルで防御します。それは、より詳細な Web 検査やフロー固有の分析、エンドポイントのセキュリティポスチャの検証によって安全性が向上した接続、VPN での音声とビデオのサポートによって実現されます。さらに、向上したネットワーク統合や復元力、スケーラビリティにより、インテリジェント情報ネットワークのサポートを強化しています。

この ASA は小型のフォームファクタのシャーシが採用されており、デスクトップや壁面取り付けが可能です。一方、1 台または 2 台を単一のラックのシェルフにマウントすることもできます。ASA は、標準 1 RU シャーシです。5500-X ASA のパフォーマンス測定指標および機能の比較については、『[Cisco ASA 5500-X Series Next-Generation Firewalls](#)』を参照してください。

図 1: ASA シャーシを積み重ねないでください



(注) ASA シャーシの上に別の ASA シャーシを積み重ねないでください。過熱状態となり、電源が再投入される場合があります。

ASA 5506-X、5506W-X、および ASA 5506H-X は、次のセキュリティ標準認定について検証済みです。

- ASA 9.12.x の連邦情報処理標準 (FIPS) 140-2
- ASA 9.12.x の Network Device Collaborative Protection Profile (NDcPPv2.1)、VPN Gateway Module (VPNGW_MOD_v1.0)、Firewall Module (FW_MOD_v1.3) のコモンクライテリア (CC) 認定
- FTD 6.4.x の Network Device Collaborative Protection Profile (NDcPPv2.2E)、IPS Extended Profile (IPSEP 2.11)、Firewall Collaborative Protection Profile Module (MOD_FW_v1.4e)、Virtual Private Network Gateway Protection Profile Module (MOD_VPNGW_v1.1) のコモンクライテリア (CC) 認定

ASA 5506W-X ワイヤレスの特長

ASA 5506W-X は、クライアントへの対応時、導入可能距離にわたって高い信頼性を提供しながら 2 つの高パフォーマンス空間ストリーム レートをサポートします。ASA 5506W-X には、コントローラ ベース モードまたは Autonomous モードの 2 つの同時デュアルバンド無線 (2.4 GHz および 5 GHz の 802.11n MIMO 無線) が含まれています。最先端の 802.11n クライアントとの完全な相互運用性をサポートする内部アンテナが統合されています。この無線ハードウェアは、Unified モード、FlexConnect モード、および Monitor モードをサポートします。

ASA 5506W-X のプロセッサの機能は以下のとおりです。

- 128 MB の NAND フラッシュ サイズ
- 1 MB の NOR フラッシュ サイズ
- 128 MB の DDR2 メモリ バス、x32

2.4 GHz と 5 GHz の 802.11n 無線の機能は次のとおりです。

- 802.11n 規格準拠
- A-MPDU TX
- HT 重複モード
- 2TX x 2RX
- 2 つの空間ストリーム、300 Mbps PHY レート
- 最大比合成 (MRC)
- Cyclic Shift Diversity (CSD; サイクリック シフト ダイバーシティ)
- MCS0-MCS15、短期または長期ガード間隔
- UNII-2 および UNII-2 拡張チャネルの DFS、0.5 us レーダー パルス検出を含む

ASA 5506W-X は 4 つのシングルバンド逆 F アンテナ (2.4 GHz が 2 つ、5 GHz が 2 つ) で構成されており、シャーシ上部の内側に等間隔に配置されています。ピーク ゲインは、2.4 GHz 帯域で約 3 dBi、5 GHz 帯域で約 5 dBi です。

ASA 5506H-X の機能

ASA 5506H-X は 5506-X の携帯バージョンであり、耐久性を高めたシャーシ、電源、SSD、および 8 つではなく 4 つのポートが備えられています。耐久性が高められている理由は、非常に広い業界動作温度範囲 (-20 °C ~ 60 °C) のサポート、IEC1613 および IEC 61850-3 の変電所規格の厳しい EMI および環境条件への準拠、および侵入保護のための IEC60529 IP40 への準拠です。

ASA 5506H-X には、出力 22 W の耐久性に優れた 5 V ~ 5.3 V バレル型電源が付属しています。あるいは、24 V DC (製品番号 PWR2-20W-24VDC) または 20 W で 20 ~ 60 V DC (製品番号 PWR2-22W-20-60VDC) のオプションの DC 電源を注文できます。

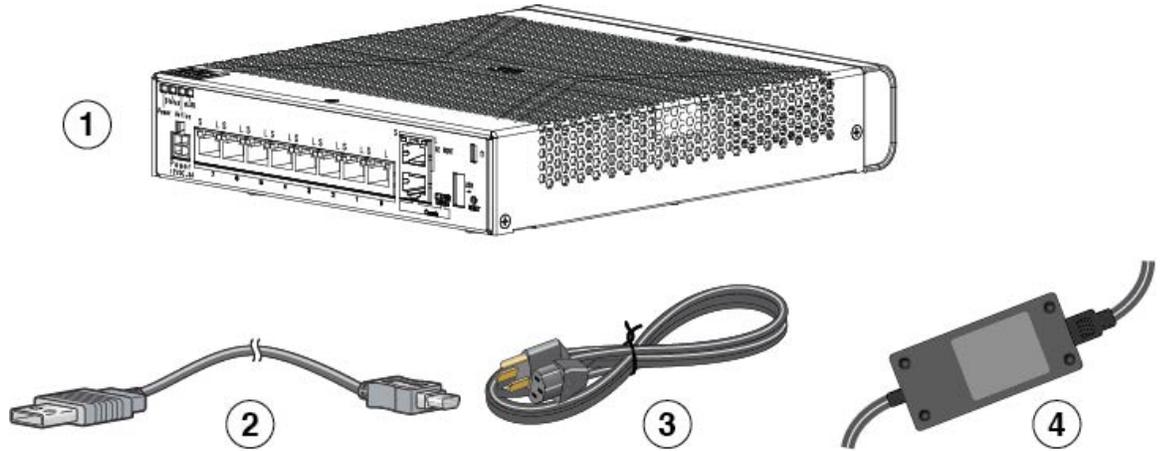


- (注) 本書で説明されている手順を開始する前に、必ず Cisco ASA 5506-X シリーズの『[Regulatory and Compliance Safety Information](#)』を読み、安全手順に適切に従ってください。

パッケージの内容

次の図は、ASA 5506-X および ASA 5506W-X のパッケージの内容を示しています。内容物は変更されることがあるため、実際の品目数は多少異なる場合があります。

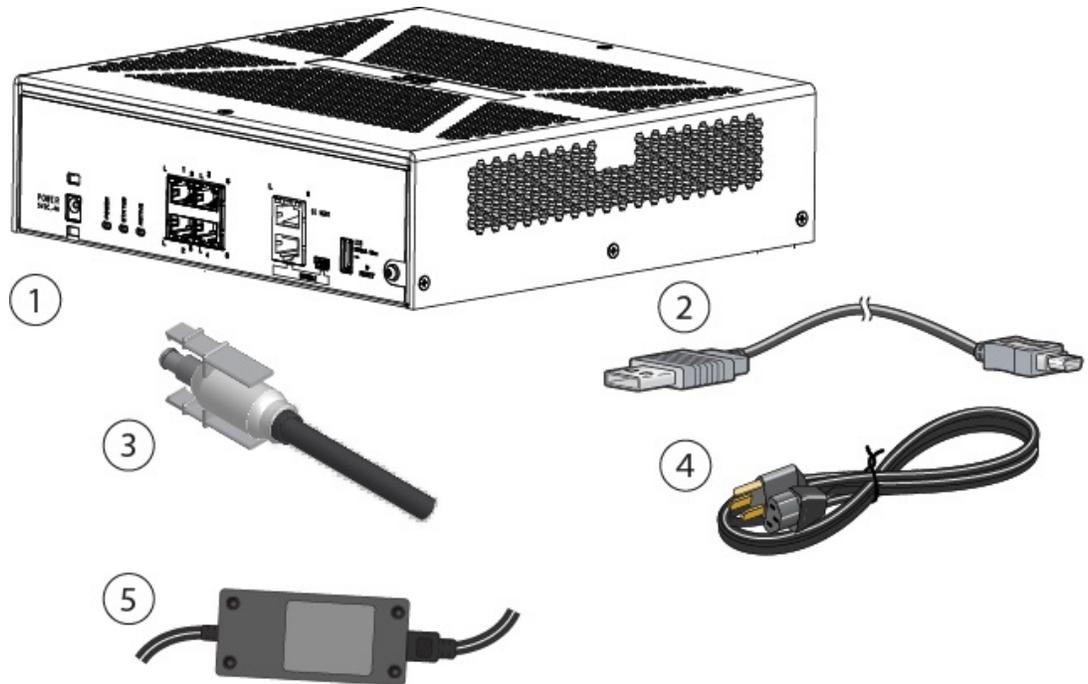
図 2: ASA 5506-X および ASA 5506W-X のパッケージの内容



1	シャーシ	2	USB コンソールケーブル (タイプ A からタイプ B)
3	電源コード	4	ブリック電源

次の図は、ASA 5506H-X のパッケージの内容を示しています。内容物は変更されることがあるため、実際の品目数は多少異なる場合があります。

図 3: ASA 5506H-X パッケージの内容



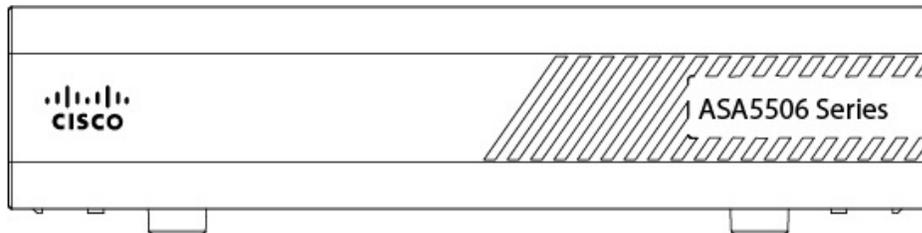
1	シャーシ	2	USB コンソールケーブル (タイプ A からタイプ B)
---	------	---	-------------------------------

3	電源コード固定ロック	4	電源コード
5	電源		—

前面パネル

次の図は、ASA 5506-X の前面パネルを示しています。ASA 5506W-X にも同一の前面パネルがあります。前面パネルには、コネクタや LED はありません。

図 4: 5506-X および 5506W-X の前面パネル



次の図は、ASA 5506H-X の前面パネルを示しています。前面パネルにはコネクタや LED が無いことに注意してください。

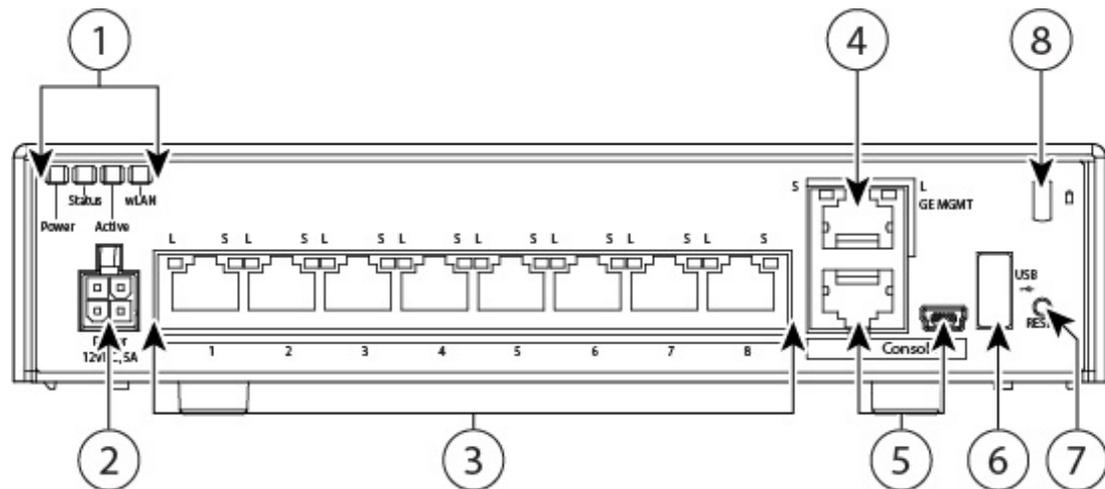
図 5: 5506H-X 前面パネル



背面パネル

次の図は、ASA 5506-X の背面パネルを示しています。5506W-X にも同一の背面パネルがあります。

図 6: ASA 5506-X および 5506W-X の背面パネル

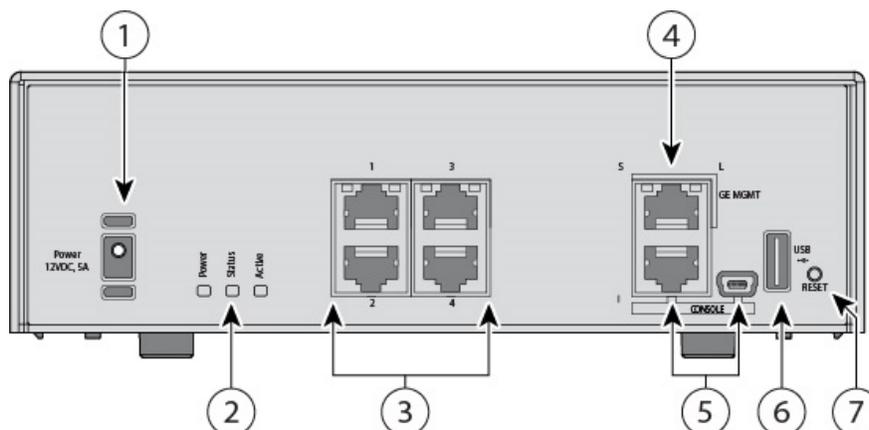


<p>1 ステータス LED</p> <p>ステータス LED の位置および意味をLED (9 ページ) に示します。</p>	<p>2 電源コード ソケット</p> <p>シャーシの電源ソケットソケット。シャーシの電源モジュールの詳細については電源モジュール (13 ページ) を参照してください。</p> <p>(注) AC 電源にプラグを差し込むと、ASA に電源が投入されます。</p>
<p>3 ネットワーク データ ポート</p> <p>8 個のギガビットイーサネット RJ-45 (8P8C) ネットワーク I/O インターフェイス。ポートには (左から右に) 1、2、3、4、5、6、7、8 の番号が付けられています。各ポートには、1 対の LED があり、それぞれ接続ステータスとリンク ステータス用です。ポートには、ギガビットイーサネット 1/1 からギガビットイーサネット 1/8 までの名前と番号が付けられています。詳細については、ネットワーク ポート (11 ページ) を参照してください。</p>	<p>4 管理ポート</p> <p>ギガビットイーサネット インターフェイスは、ネットワーク管理アクセスのみに限定されています。RJ-45 ケーブルで接続します。</p>

<p>5 コンソールポート</p> <p>2 個のシリアルポート（ミニ USB タイプ B および標準 RJ-45（8P8C））が、外部システム経由での管理アクセス用に提供されています。詳細については、コンソールポート（11 ページ） を参照してください。</p>	<p>6 USB ポート</p> <p>標準 USB タイプ A ポートでは、大容量ストレージなどの外部デバイスの接続が可能です。詳細については、内部および外部フラッシュストレージ（12 ページ） を参照してください。</p>
<p>7 リセットボタン</p> <p>小さな埋め込み型のボタンです。約 3 秒以上押しと ASA がリセットされ、次のリポート後に「出荷時」のデフォルト状態に戻ります。設定変数が工場出荷時デフォルトにリセットされます。ただし、フラッシュは削除されないため、ファイルは削除されません。</p> <p>(注) service sw-reset-button コマンドを使用して、リセットボタンを無効化できます。デフォルトではイネーブルになっています。</p> <p>(注) ASA 5506W-X のリセットボタンを押しても AP 設定には影響しませんが、システムが再起動されるため、保存されていない AP 設定は失われます。システムのリポート後、デフォルトの AP 設定を使用する場合は、hw-module module wlan recover configuration コマンドを使用して AP 設定を回復します。</p>	<p>8 ロック スロット</p> <p>スロットは、Kensington 標準 T バーのロックメカニズムに対応し、ASA のセキュリティを保護します。</p>

次の図は、5506H-X の背面パネルを示しています。

図 7: ASA 5506H-X の背面パネル



<p>1 電源コード ソケット</p> <p>シャーシの電源ソケット。シャーシの電源モジュールの詳細については電源モジュール (13 ページ) を参照してください。</p> <p>(注) AC 電源にプラグを差し込むと、ASA に電源が投入されます。</p>	<p>2 ステータス LED</p> <p>ステータス LED の位置および意味をLED (9 ページ) に示します。</p>
<p>3 ネットワーク データ ポート</p> <p>4 個のギガビットイーサネット RJ-45 (8P8C) ネットワーク I/O インターフェイス。ポートには (上から下に) 1、2、3、4 の番号が付けられています。各ポートには、1 対の LED があり、それぞれ接続ステータスとリンクステータス用です。ポートには、ギガビットイーサネット 1/1 からギガビットイーサネット 1/4 までの名前と番号が付けられています。詳細については、ネットワーク ポート (11 ページ) を参照してください。</p>	<p>4 管理ポート</p> <p>ギガビットイーサネット インターフェイスは、ネットワーク管理アクセスのみに限定されています。RJ-45 ケーブルで接続します。</p>
<p>5 コンソール ポート</p> <p>外部システムから管理アクセスを行うために、2 つのシリアルポート、標準 RJ-45 (8P8C)、ミニ USB タイプ B が提供されています。詳細については、コンソールポート (11 ページ) を参照してください。</p>	<p>6 USB ポート</p> <p>標準 USB タイプ A ポートでは、大容量ストレージなどの外部デバイスの接続が可能です。詳細については、内部および外部フラッシュストレージ (12 ページ) を参照してください。</p>

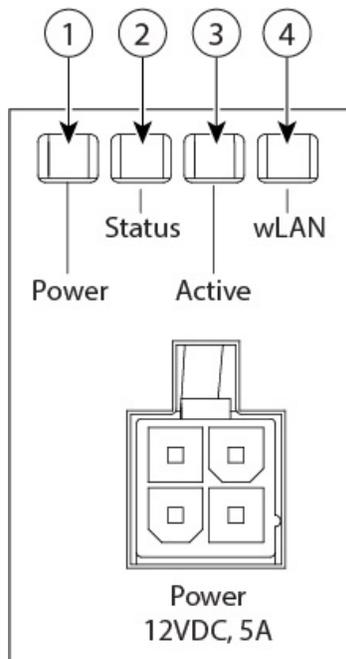
7	<p>リセット ボタン</p> <p>小さな埋め込み型のボタンです。約3秒以上押しとASAがリセットされ、次のリブート後に「出荷時」のデフォルト状態に戻ります。設定変数が工場出荷時デフォルトにリセットされます。ただし、フラッシュは削除されないため、ファイルは削除されません。</p> <p>(注) service sw-reset-button コマンドを使用して、リセットボタンを無効化できます。デフォルトではイネーブルになっています。</p>	—
---	--	---

LED

LED は、ASA 5506-X および ASA 5506W-X シャーシの背面に向かって、左上隅（シャーシの前面に向かって、上記の背面の右上隅）にあります。LED は、ASA 5506H-X の背面に向かって、シャーシの左下にあります。ネットワーク ポートの LED は各ネットワーク ポートの上にあります。詳細については、「[背面パネル \(5 ページ\)](#)」を参照してください。

次の図は、左上隅の LED を示しています。

図 8: LED



<p>1 電源</p> <p>電源装置のステータス：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 消灯：電源がオフ。 • 緑色：電源がオンになっている。 <p>特定のASAに固有の電源情報については、電源モジュール（13 ページ）を参照してください。</p>	<p>2 ステータス</p> <p>システムの動作状態</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑色：システムが正常に機能している。 • オレンジ色：次の1つ以上を示すクリティカルアラーム。 <ul style="list-style-type: none"> • ハードウェアまたはソフトウェアコンポーネントの重大な障害 • 過熱状態 • 許容範囲外の電圧
<p>3 アクティブ</p> <p>フェールオーバー ペアの状態：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑色：フェールオーバー ペアは正常に動作中。ASA が HA ペアでなければ、LED は常に緑です。 • オレンジ：ASA が HA ペアの場合、スタンバイユニットのLED はオレンジ。 • 消灯：フェールオーバーが動作していない。 	<p>4 wLAN</p> <p>ASA 5506-X および ASA 5506-H では使用されていません。</p> <p>ASA 5506W-X のワイヤレス接続のアソシエーションステータス：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 緑の点滅：正常に動作しているが、ワイヤレスクライアントなし。 • 緑：正常に動作していて、少なくとも1つのワイヤレスクライアントが関連付けられている。 • オレンジの点滅：ソフトウェアアップグレードが進行中。 • 緑、赤、オレンジの順で点灯：検出/参加プロセスが進行中。 • 赤の点滅：イーサネットリンクが動作していない。 • 消灯：ワイヤレスが動作していない。

ネットワーク ポートの状態

ASA 5506-X および ASA 5506W-X の背面パネルの 8 つのギガビット イーサネット ネットワーク ポートおよびギガビット イーサネット管理ポートのそれぞれに LED のペアが対応（リンクステータスおよび接続ステータス）。

ASA 5506H-X の背面パネルの 4 つのギガビット イーサネット ネットワーク ポートおよびギガビット イーサネット管理ポートのそれぞれに LED のペアが対応（リンクステータスおよび接続ステータス）。

リンク ステータス (L)

- 消灯：リンクなし、またはポート未使用。
- 緑色：リンクが確立。
- 緑色の点滅：リンク アクティビティ。

接続速度ステータス (S)

- 3 秒に 1 回点滅：10 Mbps。
- 2 回の高速点滅：100 Mbps。
- 3 回の高速点滅：1000 Mbps。

ネットワークポート

ASA 5506-X および ASA 5506W-X には、8 つの 10/100/1000 BaseT イーサネット ネットワークポートがあります。各 RJ-45 (8P8C) 銅線ポートは、自動 MDI/X、およびインターフェイス速度に合わせた自動ネゴシエーション、デュプレックス、その他のネゴシエートされたパラメータをサポートし、MDI/MDIX 対応です。

また、ASA 5506W-X は内部で WLAN モジュールに接続するギガビット イーサネット 1/9 ポートも備えています。

ASA 5506H-X には 4 つの 10/100/1000 BaseT イーサネット ネットワークポートがあります。各 RJ-45 (8P8C) 銅線ポートは、自動 MDI/X、インターフェイス速度、デュプレックス、および他のネゴシエートされたパラメータの自動ネゴシエーションをサポートし、MDI/MDIX 対応です。

ASA 5506-X および ASA 5506W-X の背面にはポートが配置されており、ポート 1 が左側、ポート 8 が右側のコンソールポートおよび管理ポートの横にあります。各ポートには、1 対の LED があり、それぞれリンク ステータス (L) と接続ステータス (S) 用です。ポートには、ギガビット イーサネット 1/1 からギガビット イーサネット 1/8 までの名前と番号が付けられています。ポートには、ギガビット イーサネット 1/1 からギガビット イーサネット 1/4 までの名前と番号が付けられています。

ASA 5506H-X の 4 個のポートは異なる形式で番号が付けられています。ASA 5506H-X の背面に配置されているポートは、上部の左側にポート 1、右側にポート 3 があり、下部の左側にポート 2、右側にポート 4 があります。ポートはステータス LED とコンソールポートおよび管理ポートの間にあります。ポートには、ギガビット イーサネット 1/1 からギガビット イーサネット 1/4 までの名前と番号が付けられています。

コンソールポート

ASA には 2 つの外部コンソールポートがあり、1 つは標準の RJ-45 ポート、もう 1 つはミニ USB タイプ B シリアルポートです。同時にアクティブにできるのは 1 個のコンソールポート

だけです。ケーブルを USB コンソール ポートに接続すると、RJ-45 ポートは非アクティブになります。反対に、USB ケーブルを USB ポートから外すと、RJ-45 ポートはアクティブになります。コンソール ポートにはハードウェア フロー制御がありません。ターミナルサーバを使用してシリアル コンソール ポートから、またはコンピュータの端末エミュレーションプログラムから、コマンドライン インターフェイス (CLI) で ASA を設定できます。

また、ASA 5506W-X 内の AP モジュールにコンソールポートがあり、このポートは、ASA CLI のセッション **WLAN コンソール** コマンド経由でモジュールのコンソールにセッション接続することにより、アクセスできます。

RJ-45 ポート

RJ-45 (8P8C) ポートは、内部 UART コントローラにシグナリングする RS-232 をサポートします。RJ-45 コンソール ポートはリモート ダイアルイン モデムをサポートしていません。必要に応じて、標準管理ケーブル (シスコ部品番号 72-3383-01) を使用して、RJ45 を DB9 接続に変換できます。

ミニ USB タイプ B ポート

ミニ USB タイプ B ポートは、外部コンピュータの USB ポートに接続できます。Linux および Macintosh システムでは、特別なドライバは不要です。Windows システムでは、USB ドライバ (software.cisco.com から入手可能) のダウンロードおよびインストールが必要です。Windows HyperTerminal の動作に影響を与えることなく、コンソールポートでの USB ケーブルの抜き差しが可能です。適切に終端シールドが施された、シールド付き USB ケーブルが推奨されます。USB コンソールポートのボーレートは、1200、2400、4800、9600、19200、38400、57600、115200 bps です。



(注) Windows オペレーティングシステムでは、USB コンソールポートを使用する前に、コンソールポートに接続されたすべての PC に Cisco Windows USB コンソール ドライバをインストールする必要があります。ドライバのインストールについては [Microsoft Windows でのコンソールポートへの接続 \(41 ページ\)](#) を参照してください。

内部および外部フラッシュストレージ

ASA には、内部 USB フラッシュ ドライブが 1 台と、外部デバイスの接続に使用可能な標準 USB タイプ A ポートが 1 つあります。USB ポートは、最大 500 mA (5 台の USB 電源ユニット) の 5 V 出力電力を供給できます。

内部 USB デバイス

組み込み eUSB デバイスは、内部フラッシュとして使用されます。これは *disk0* として識別されます。

外部 USB ドライブ (オプション)

外部タイプ A の USB ポートを使用して、データストレージデバイスを接続できます。外部 USB ドライブ識別子は *disk1* です。ASA に電源が投入されると、接続された USB ドラ

イブは `disk1` としてマウントされ、ユーザが使用可能な状態になります。さらに、`disk 0` に使用できるファイルシステム コマンドは `disk1` でも使用可能です。これらのコマンドには、**copy**、**format**、**delete**、**mkdir**、**pwd**、**cd** などがあります。

複数のパーティションがある USB ドライブを挿入すると、最初のパーティションのみがマウントされます。

FAT-32 ファイル システム

ASA は内蔵 eUSB ドライブおよび外部 USB ドライブに対して FAT-32 形式のファイルシステムのみをサポートします。FAT-32 形式ではない外部 USB ドライブを挿入すると、システムのマウントプロセスが失敗し、エラーメッセージが表示されます。**format disk1:** コマンドを入力して該当のパーティションを FAT 32 にフォーマットし、再度 `disk1` にマウントできます。ただし、データが失われる可能性があります。

ソリッドステートドライブ

ASA 5506-X および ASA 5506W-X には、ストレージをサポートする SSD が付属しています。SSD の空き容量は 50 GB です。現場交換はできません。ドライブを交換するには、ASA 全体をシスコに返送する必要があります。SSD はソフトウェアによって使用されます。ユーザは SSD にアクセスできません。

ASA 5506H-X には、ストレージをサポートする耐久性に優れた SSD が付属しています。SSD は、ASA 5506H-X がサポートする拡張温度範囲で動作するように業界で定められた部品です。SSD の空き容量は 50 GB です。現場交換はできません。ドライブを交換するには、ASA 全体をシスコに返送する必要があります。SSD はソフトウェアによって使用されます。ユーザは SSD にアクセスできません。

電源モジュール

ASA 5506-X および ASA 5506W-X には、出力 60 W の 12 V ブリック電源が付属しています。

ASA 5506H-X には、出力 22 W の耐久性を高めた 5 V ~ 5.3 V バレル電源が付属しています。この電源は -25 ~ 60 °C の拡張温度範囲をサポートします。あるいは、24 V DC (製品番号 PWR2-20W-24VDC) または 20 W 20 ~ 60 V DC (製品番号 PWR2-22W-20-60VDC) のオプションの DC 電源をオーダーできます。

ハードウェア仕様

次の表に、ASA のハードウェア仕様を示します。

取り付け	<ul style="list-style-type: none"> • デスクへの設置可能。詳細については、シャーシのデスクトップマウント (29 ページ) を参照してください。 <p>注意 ASA シャーシの上に別の ASA シャーシを積み重ねないでください。過熱状態となり、電源が再投入される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ラックトレイ内でラックマウント可能。2 台のシャーシを隣り合わせに配置可能。詳細については、シャーシのラックマウント (32 ページ) を参照してください。 <p>(注) ラックトレイには 1 台の ASA 5506H-X のみマウント可能。詳細については、シャーシのラックマウント (32 ページ) を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 壁への取り付け可能 (ASA 5506-X および ASA 5506W-X のみ)。詳細については、シャーシの壁面取り付け (30 ページ) を参照してください。 • DIN レールへの取り付け可能 (ASA 5506H-X のみ)、DIN レールはシスコに注文して入手できます。ASA 5506H-X の DIN レールへの取り付け (37 ページ) を参照してください。
寸法	<p>19.99 X 23.44 X 4.93 cm (7.87 X 9.23 X 1.94 インチ) (ASA 5506-X および ASA 5506W-X、ゴム脚を含む)。</p> <p>23.11 X 23.11 X 7.11 cm (9.1 X 9.1 X 2.8 インチ) (ASA 5506H-X)。</p>
重量	<p>1.8 kg (4.0 ポンド) (ASA 5506-X および ASA 5506W-X)</p> <p>3.0 kg (6.7 ポンド) (ASA 5506H-X)</p>
DRAM	<p>合計 : 4 GB</p> <p>FW/VPN に割り当て : 1.8 GB</p> <p>モジュールに割り当て : 2.2 GB</p> <p>(注) 合計メモリは OS/Lina/SFR に分割されます。これらのパーセンテージは、ASA ソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。</p>
内部フラッシュ	8 GB
電源	<p>60 W (ASA 5506-X および ASA 5506W-X)</p> <p>22 W (5506H-X)</p>

温度	動作時：0～40℃（32～104°F）（ASA 5506-X および ASA 5506W-X） ¹ -20～60℃（-4～140°F）（ASA 5506H-X） ² 非動作時：-25～70℃（-13～158°F）（ASA 5506-X および ASA 5506W-X） -40～85℃（-40～185°F）（ASA 5506H-X）
相対湿度	動作時：90%（ASA 5506-X および ASA 5506W-X） 動作時：95%（ASA 5506H-X） 非動作時：10～90%
最大高度	動作時：3,048 m（10,000 フィート） 非動作時：4,572 m（15,000 フィート）
IP 定格	IEC60529 準拠の IP40（ASA 5506H-X）
振動/衝撃への耐性強化	IEEE1613、IEC60068-2、IEC 61850-3（ASA 5506H-X）

¹ 海拔 305 m（1,000 フィート）あたり最大動作温度から 1.5℃ マイナスしてください。

² 高度 1,830 m（6,000 フィート）を超える場合、305 m（1,000 フィート）あたり最大動作温度から 1.5℃ マイナスしてください。

電源コードの仕様



(注) この項は、ASA 5506-X および ASA 5506W-X のみに適用されます。ASA 5506H-X には適用されません。

各電源装置には個別の電源コードがあります。セキュリティアプライアンスへの接続には標準電源コードを使用できます。

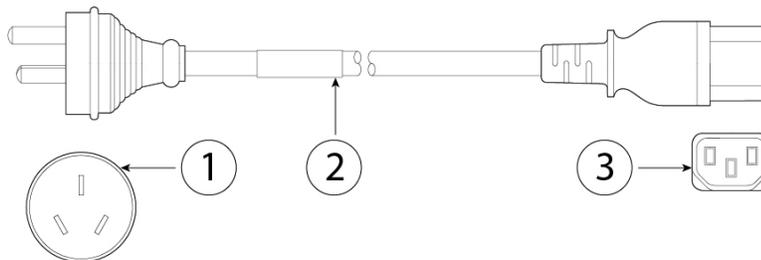
システムのオプションの電源コードを注文しない場合は、ユーザーの責任で製品に適した電源コードを選択します。この製品と互換性がない電源コードを使用すると、電気の安全性に関する危険が生じる可能性があります。アルゼンチン、ブラジル、および日本向けの注文では、システムとともに注文される適切な電源コードが必要です。



(注) セキュリティアプライアンスに付属する承認済みの電源コードのみがサポートされます。次の表に、サポートされる電源コードを示します。

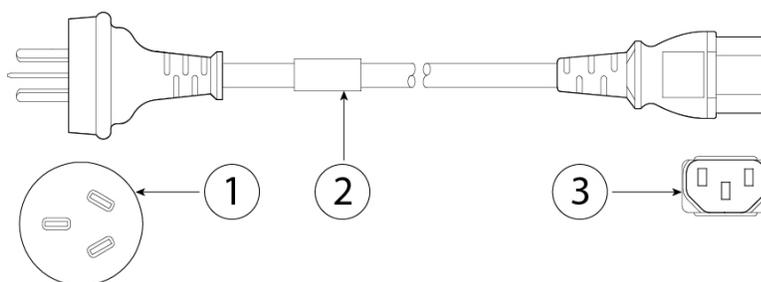
以下の図は、上の表で示されている各国のコード、コネクタ、およびプラグを示しています。

図 9: アルゼンチン (CAB-ACR)



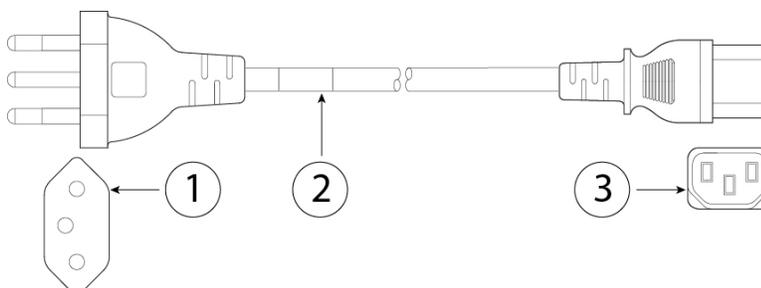
1	プラグ : IRAM 2073	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		—

図 10: オーストラリア (CAB-ACA)



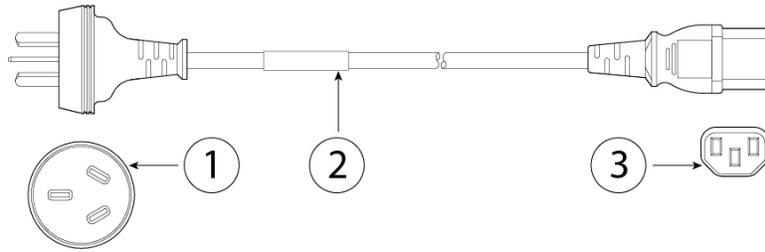
1	プラグ : A.S. 3112	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		—

図 11: ブラジル (CAB-C13-ACB)



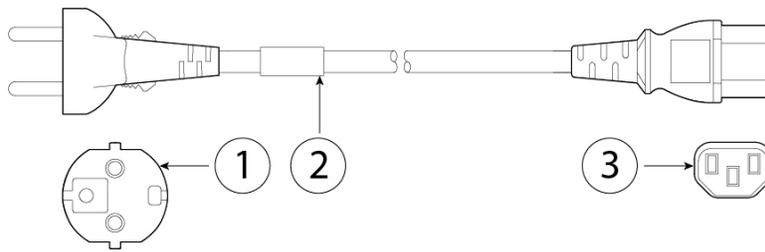
1	プラグ : NBR 14136	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		—

図 12: 中国 (CAB-ACC)



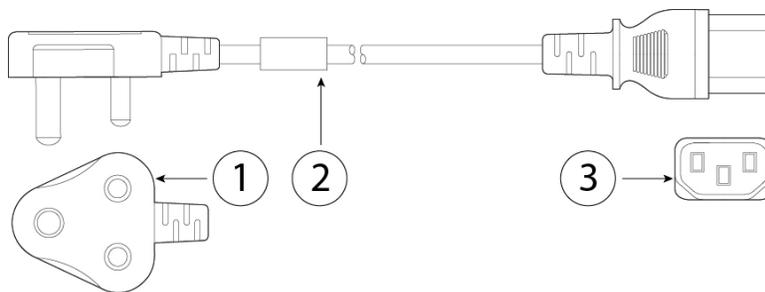
1	プラグ : GB2009.1-2008	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		—

図 13: 欧州 (CAB-ACE)



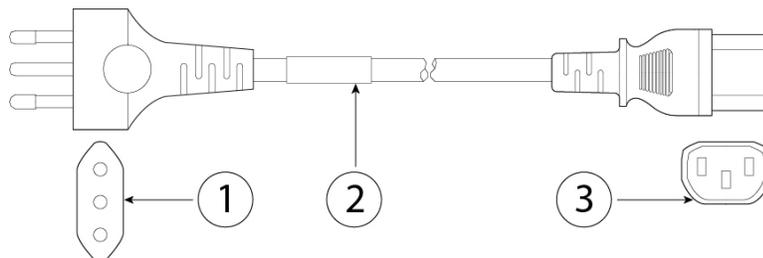
1	プラグ : CEE 7 VII	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		—

図 14: インド (CAB-IND-10A)



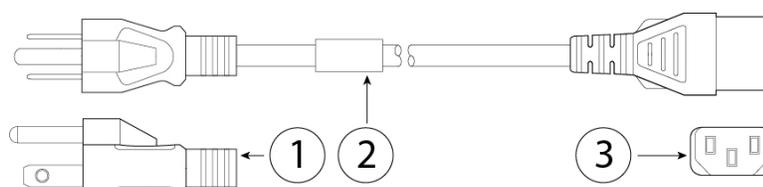
1	プラグ : IS 6538-1971	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		—

図 15: イタリア (CAB-ACI)



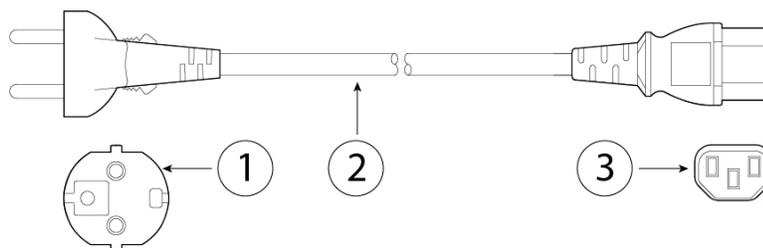
1	プラグ : CE123-16-VII	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		—

図 16: 日本 (CAB-JPN-3PIN)



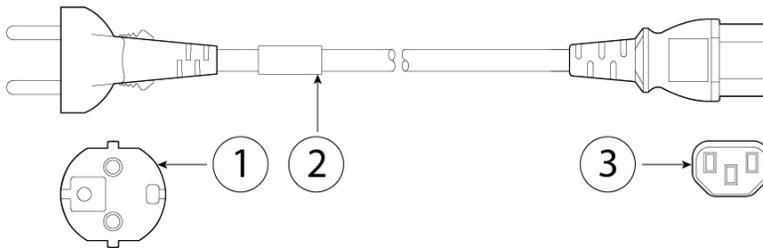
1	プラグ : JIS C8303	2	コードセット定格 : 12 A、125 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		—

図 17: 韓国 (CAB-AC-C13-KOR)



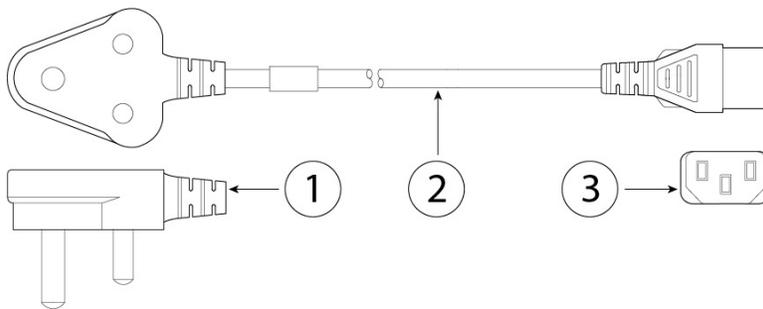
1	プラグ : KSC8305	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		—

図 18: 北米 (CAB-AC)



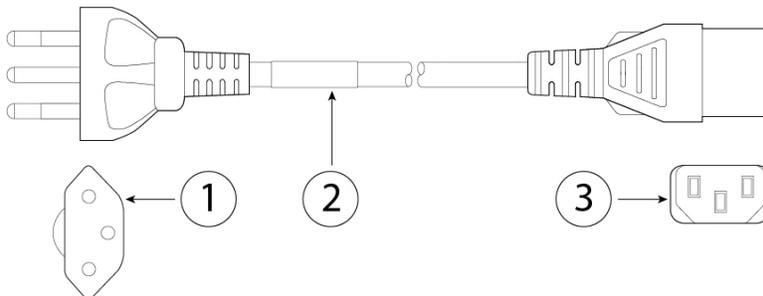
1	プラグ : NEMA 5-15P	2	コードセット定格 : 10 A、125 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		—

図 19: 南アフリカ (AIR-PWR-CORD-SA)



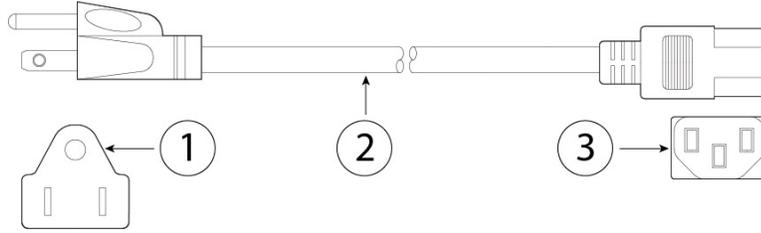
1	プラグ : SABS 1661	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		—

図 20: スイス (CAB-ACS)



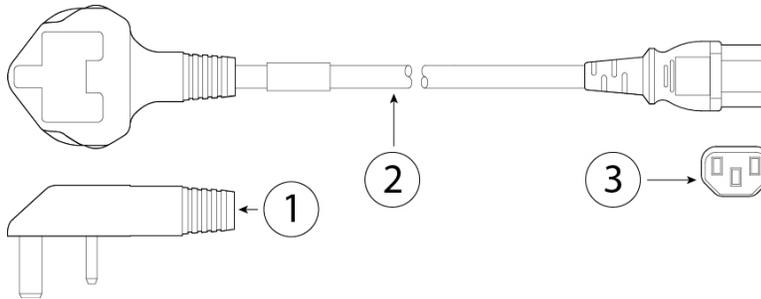
1	プラグ : SEV 1011	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		—

図 21:台湾 (CAB-ACTW)



1	プラグ : CNS10917	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		—

図 22:英国 (CAB-ACU)



1	プラグ : BS1363a/SS145	2	コードセット定格 : 10 A、250 V
3	コネクタ : IEC 60320/C13		—



第 2 章

インストールの準備

- 設置に関する警告 (21 ページ)
- ASA の配置 (23 ページ)
- ASA 5506W-X の取り付けと設置の準備 (23 ページ)
- 安全に関する推奨事項 (24 ページ)
- 電気製品を扱う場合の注意 (24 ページ)
- 静電破壊の防止 (25 ページ)
- 設置場所の環境 (25 ページ)
- サイトの考慮事項 (26 ページ)
- 電源モジュールに関する考慮事項 (26 ページ)
- ラックの構成に関する考慮事項 (26 ページ)

設置に関する警告

ASA を設置する前に、必ず『[Regulatory Compliance and Safety Information](#)』をお読みください。
次の警告を記録しておいてください。



警告 使用、設置、電源への接続を行う前にインストール手順を読んでください。



警告 シャーシでの作業または電源モジュールの近くでの作業の前に、AC 装置から電源コードを抜いてください。DC 電源装置の回路ブレーカーで電源を切断します。



警告 電力系統に接続された装置で作業する場合は、事前に、指輪、ネックレス、腕時計などの装身具を外してください。金属は電源やアースに接触すると、過熱して重度のやけどを引き起こしたり、金属類が端子に焼き付いたりすることがあります。



警告 作業中は、カードの静電破壊を防ぐため、必ず静電気防止用リストストラップを着用してください。感電する危険があるので、手や金属工具がバックプレーンに直接触れないようにしてください。



警告 この製品は、設置する建物に回路短絡（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。一般および地域の電気規格に準拠するように設置する必要があります。



警告 感電を防ぐため、安全超低電圧（SELV）回路を電話網電圧（TNV）回路に接続しないでください。LAN ポートには SELV 回路が、WAN ポートには TNV 回路が組み込まれています。一部の LAN ポートおよび WAN ポートでは、共に RJ-45 コネクタが使用されています。ケーブルを接続する際は、注意してください。



警告 この装置は、接地させる必要があります。感電のリスクを軽減するため、絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。



警告 本製品の最終処分は、各国のすべての法律および規制に従って行ってください。



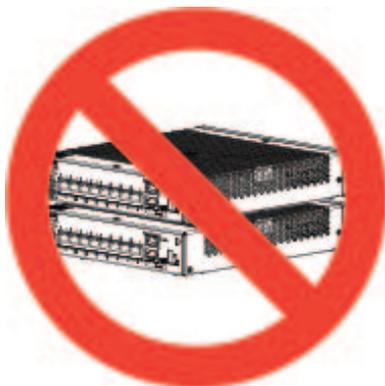
警告 感電または火災のリスクを軽減するため、機器は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。



警告 この装置は TN 電源システムで動作するように設計されています。

ASA の配置

図 23: シャーシを積み重ねないでください



注意 ASA シャーシの上に別の ASA シャーシを積み重ねないでください。過熱状態となり、電源が再投入される場合があります。

ASA の配置方法としてデスクトップや非ラッククローゼットシェルフ、壁面などを選択する際には、以下を考慮する必要があります。

- 必ず ASA が邪魔にならない場所を選び、ぶつかったり、誤ってずれたりしないようにしてください。アプライアンスには、設置場所に密着しないようにするために底部に「脚」があり、隙間や周囲から適切な空気循環ができるようになっています。アプライアンスを密接した状態で囲ったり、他の物と密集させて配置したりしないでください。適切な空気循環が妨げられる可能性があります。
- 電源コード、イーサネットケーブル、およびコンソールケーブルを容易に ASA まで配線することができ、十分なたるみと巻き込みを確保できる場所を選択して、不用意に抜けたりにしないようにしてください。

ASA 5506W-X の取り付けと設置の準備

ASA 5506W-X の取り付けおよび展開の前に、サイト調査を実施（またはサイト計画ツールを使用）することにより、ワイヤレス ASA の最適な設置場所を判断することが推奨されます。

ご使用のワイヤレス ネットワークについて次の情報があることを確認してください。

- ASA 5506W-X ロケーション
- ASA 5506W-X マウント オプション（マウント オプションについては、[ASA の配置](#)（23 ページ）を参照してください）。
- ASA 5506W-X 電源オプション



- (注) ASA 5506W-X の場所を示すサイト マップを作成し、各場所からデバイスの MAC アドレスを記録して、それらをワイヤレスネットワークを計画または管理している担当者に渡すことができるようにすることが推奨されます。

安全に関する推奨事項

これらの安全に関する注意事項を遵守してください。

- 設置作業中および作業後は、設置場所を整理し、埃のない状態に保ってください。
- 工具は、通行の邪魔にならない場所に置いてください。
- ゆったりとした衣服やイヤリング、ブレスレット、ネックレスなどの装飾品は身につけず、シャーシに引っかかることがないようにしてください。
- 目が危険にさらされる状況で作業する場合は、保護眼鏡を着用してください。
- 人身事故や装置障害を引き起こす可能性のある作業は行わないでください。
- 重量が 1 人で扱える範囲を超えているものを、単独で持ち上げないでください。

電気製品を扱う場合の注意



警告 シャーシの作業を行う前に、必ず電源コードを抜いてください。

電気機器を取り扱う際には、次の注意事項に従ってください。

- シャーシ内部の作業を開始する前に、作業を行う部屋の緊急電源遮断スイッチの場所を確認しておいてください。電気事故が発生した場合は、ただちにその部屋の電気を切ってください。
- 危険を伴う作業は、一人では行わないでください。
- 電源が切断されていると思わずに、必ず確認してください。
- 床が濡れていないか、アースされていない電源延長コード、すり減った電源コード、保護アースの不備などがどうか、作業場所の安全を十分に確認してください。
- 電気事故が発生した場合は、次のように対処してください。
 - 負傷しないように注意してください。
 - システムの電源を切断してください。

- 可能であれば、だれかに頼んで救護を呼んでもらいます。それができない場合は、負傷者の状況を見極めてから救援を要請してください。
- 負傷者に人工呼吸または心臓マッサージが必要かどうかを判断し、適切な処置を施してください。
- シャーシは、指定された定格電力の範囲内で、製品の使用説明書に従って使用してください。

静電破壊の防止

電子部品の取り扱いが不適切な場合、静電放電が発生し、機器の損傷や電気回路の破損を引き起こす可能性があります。その結果、障害あるいは断続的障害を引き起こします。

部品の取り外しまたは交換を行うときは、必ず静電気防止手順に従ってください。シャーシが電氣的にアースに接続されていることを確認してください。静電気防止用リストストラップを肌に密着させて着用してください。アースクリップをシャーシフレームの塗装されていない表面に止めて、静電気が安全にアースに流れるようにします。静電放電による損傷とショックを防止するには、リストストラップとコードを効果的に作用させる必要があります。リストストラップがない場合は、シャーシの金属部分に触れて、身体を接地してください。

安全を確保するために、静電気防止用ストラップの抵抗値を定期的にチェックしてください。抵抗値は1～10 MΩである必要があります。

設置場所の環境

シャーシは、デスクトップに配置したり、壁やラック シェルフにマウントすることができます。システムを正常に動作させるには、シャーシの位置、機器ラックまたは配線室の配置が非常に重要です。装置間の間隔が狭すぎると、換気が十分に行われず、またパネルに手が届きにくくなるため、システムの誤動作や停止の原因になります。また、不適切な配置によって、シャーシのメンテナンスも困難になります。



警告

いかなる場合においても、決してシャーシの上に複数のシャーシを積み重ねないでください。その場合、ASA の冷却用空気の流れが阻害され、ハードウェア損傷の原因になります。

物理的仕様については、[ハードウェア仕様 \(13 ページ\)](#) を参照してください。

設置場所のレイアウトや機器の配置を検討するときは、機器故障を予防し、環境に起因するシャットダウンを防ぐため、次項の情報を考慮してください。既存の装置で停止やエラーが頻繁に起きている場合にも、この考慮事項を参考にすることにより、障害の原因を突き止め、今後問題が起きないように予防することができます。

サイトの考慮事項

以下の情報を考慮することで、シャーシに適した動作環境を確保し、環境による装置の故障を防ぐことができます。

- 電子機器は放熱します。空気の循環が不十分な場合、周辺の温度が上昇し、その結果、適切な動作温度まで装置を冷却できなくなることがあります。システムを使用する室内で十分に換気が行われるようにしてください。
- シャーシカバーが完全に取り付けられていることを確認してください。シャーシは内部を冷却用の空気が適切に流れるように設計されています。シャーシが開いていると、空気が漏れて、内蔵部品に冷却用の空気が行き渡らなくなったり、空気の流れが妨害されることがあります。
- 前述した静電気防止手順に従って、装置の損傷を防いでください。静電放電による損傷によって、即時または断続的な機器障害が発生する可能性があります。

電源モジュールに関する考慮事項

シャーシを設置する際には、以下のことを考慮してください。

- シャーシを設置する前に、設置場所の電源を調べ、「質の良い」（スパイクやノイズのない）電力が供給されているかどうかを確認してください。必要に応じて電源調整器を設置し、アプライアンス入力電圧にて適切な電圧および電力レベルを確保してください。
- 設置場所で適切にアースし、雷や電力サージによる損傷を防止してください。
- シャーシでは、ユーザが動作範囲を選択できません。シャーシの正確なアプライアンス入力所要電力については、そのラベルを参照してください。
- できるだけ、無停電電源装置を使用してください。

ラックの構成に関する考慮事項

装置ラックの構成を決めるときは、次のことを考慮してください。

- 開放型ラックにシャーシをマウントする場合、ラックのフレームで吸気口や排気口をふさがないように注意してください。
- スライドレールのラックマウントと連動させるには、ラックマウント支柱が 2 ~ 3.5 mm 厚である必要があります。
- 前面扉および背面扉：閉じる形式の前面扉および背面扉がラックにある場合は、適切なエアフローを確保するため、穴あき部分（全体の 65 %）が扉の上部から下部まで均一に分散している必要があります。

- 閉鎖型ラックに十分な通気があることを確認してください。各シャーシで熱が発生するため、ラック内に装置を詰め込みすぎないように注意してください。冷気が回るように、閉鎖型ラックにはルーバーが付いた側面とファンが必要です。
- 閉鎖型ラックの上部に換気用ファンが付いている場合には、ラックの下段に設置した装置の熱が上昇し、上段の装置の吸気口から入り込む可能性があります。ラック下段の装置に対して、十分な換気が行われるようにしてください。
- バッフルは吸気から排気を分離するときに役立ちます。また、シャーシ内に冷気を取り込むためにも役立ちます。隔壁は、シャーシ内に冷気を行き渡らせるためにも有効です。隔壁の最適な取り付け位置は、ラック内の空気がどのように流れるかによって異なります。



第 3 章

シャーシの取り付け



(注) ASAに付属するゴム脚を取り外さないでください。ゴム脚は、すべての取り付け方向で適切に冷却するために必要です。

- [シャーシのデスクトップマウント \(29 ページ\)](#)
- [シャーシの壁面取り付け \(30 ページ\)](#)
- [シャーシのラックマウント \(32 ページ\)](#)
- [ASA 5506H-X の DIN レールへの取り付け \(37 ページ\)](#)

シャーシのデスクトップマウント

シャーシをデスク上に水平に置くことにより、デスクトップにマウントできます。シャーシの上方 2.5 cm (1 インチ) 以内や、両側および背面の 1.3 cm (0.5 インチ) 以内に、冷却の妨げになる遮蔽物や障害物がないようにしてください。シャーシに付属のゴム脚を取り外さないでください。それらも、適切な冷却のために必要です。

図 24: シャーシを積み重ねないでください





注意 シャーシの上に別のシャーシを積み重ねないでください。過熱状態となり、電源が再投入される場合があります。

シャーシの壁面取り付け

シャーシを壁に取り付けるには、次の手順に従います。壁面取り付けキットを購入できます。壁面取り付けキットの部品番号は ASA5506-WALL-MNT= です。

ステップ1 シャーシを取り付ける壁の場所を選択します。

ステップ2 オプションの壁面取り付けキットに付属している、2つのシスコ提供のネジとアンカーを使用します。

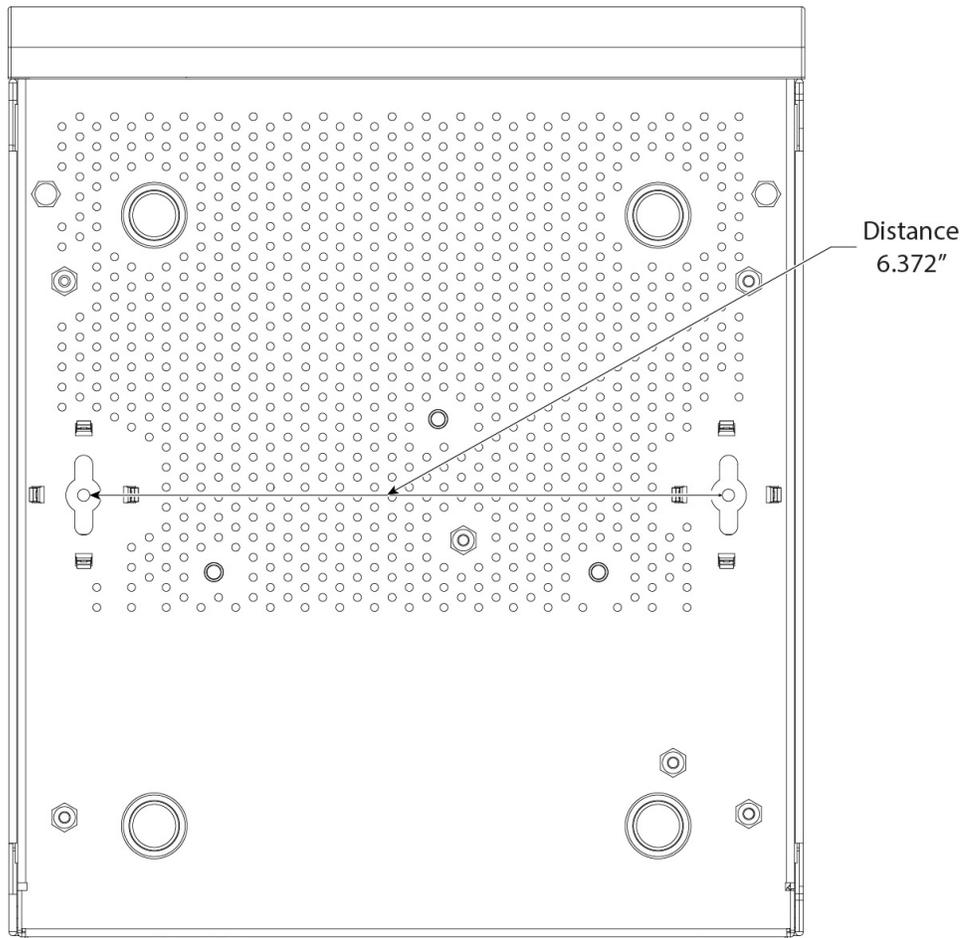
木材やシートメタルなど、乾式壁以外にシャーシを取り付ける場合は、アンカーが不要ことがあります。

ステップ3 鉛筆、ルーラー、水準器を使用して、2本の取り付けネジの位置にマーキングします。

シャーシの幅と長さは 20 X 23.44 cm (7.87 X 9.23 インチ) です。シャーシの取り付け穴は、中間の位置 (すなわち前面および背面から 6.372 インチ) にあり、穴は反対側から 0.75 インチ (1.9 cm) 押し込まれています。

したがって、2つの水平のマーキングが 16.14 cm (6.37 インチ)、または約 16.18 cm (6-3/8 インチ) の間隔になる必要があります。

図 25: 2本の取り付けネジの位置のマーキング



ステップ 4 壁の各マークの位置にドリルで穴をあけます。

これらの穴は、アンカーの直径よりわずかに小さくする必要があります。推奨されるドリル穴のサイズは 3/16 インチです。

ステップ 5 アンカーを穴に挿入し、しっかり固定されていることを確認します。

ステップ 6 各ネジをアンカーに締め込み、突き出しが約 1/4 インチになるまで回します。

ステップ 7 シャーシを持ち上げ、アンカーのネジ位置にシャーシ底の穴を合わせてシャーシを壁側に移動し、ネジの頭がシャーシ内に入ったらシャーシを下にスライドしてネジに乗せます。

シャーシは前面パネルが天井または床を向いた状態でしか取り付けることができません。他の向きでの壁面への設置はサポートされません。

次のタスク

[クイックスタートガイド](#)で説明されているように、デフォルトのソフトウェア設定用にケーブルを取り付けます。

シャーシのラックマウント

ラックシェルフキット（部品番号 800-107605-01）には、次の品目が含まれています。



(注) シャーシをラックに固定するために使用できる 4 本一組のネジが 2 セット同梱されています。ラックに合うネジを選択してください。

- ラックシェルフ（部品番号 700-122662-01）
- スライド式ラックトレイ 2 個（部品番号 800-107648-01）
- ケーブルガイド 2 個（部品番号 700-01663-01）
- M3 X 7 mm プラスネジ 12 本（部品番号 48-1921-01）。これらのネジを使用してケーブルガイドを取り付けます。
- 12-24 X 0.75 インチプラスネジ 4 本（部品番号 48-0440-01）。ラックタイプに応じてこれらのネジを使用し、スライド式ラックトレイをラックに固定します。
- 10-32 X 0.75 インチプラスネジ 4 本（部品番号 48-0441-01）。ラックタイプに応じてこれらのネジを使用し、スライド式ラックトレイをラックに固定します。



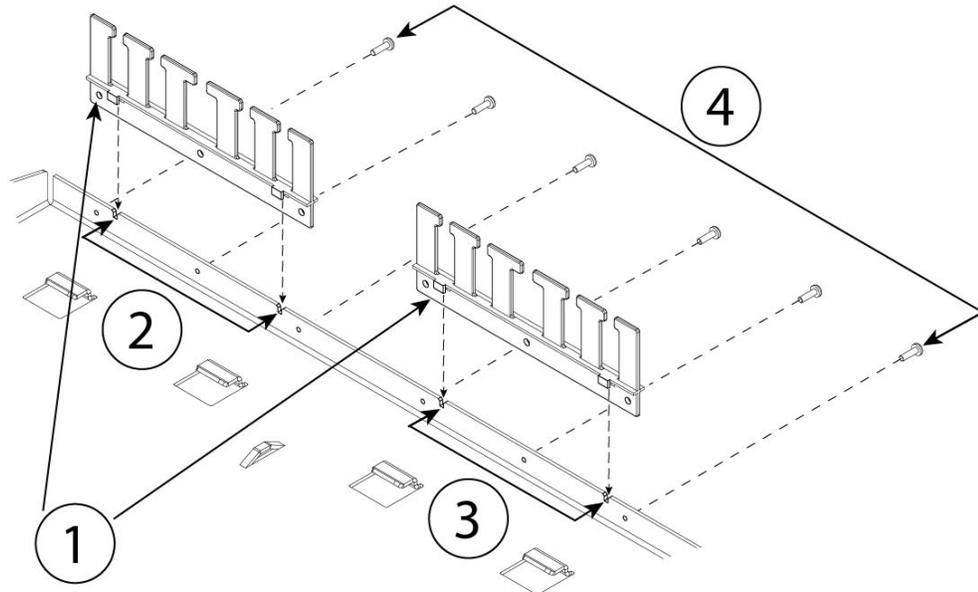
(注) スライド式ラックトレイをシャーシに固定するには、6-32 X 0.25 インチネジ（部品番号 48-0421-01）6 本が必要です。これらのネジはキットに含まれている場合がありますが、含まれていない場合は用意する必要があります。また、6 本の追加の M3 x 7 mm プラスネジがあります。これらのネジを使用してシャーシにスライド式ラックを固定しないでください。大きすぎてしっかりと固定されません。



(注) ASA 5506H-X はラックマウントシェルフに 1 台しかマウントできません。
ASA 5506H-X の寸法は、8.79 X 46.48 X 49.52 cm (3.46 X 18.3 X 19.5 インチ) です。PID は asa5506h-rack-mnt= です。

ステップ 1 ラックシェルフにケーブルガイドを取り付けます。

図 26: ラックシェルフフランジへのケーブルガイドの取り付け



1	ケーブルガイド 2 個 (部品番号 700-01663-01)	左側ケーブルガイドラックシェルフの切り欠き
3	右側ケーブルガイドラックシェルフの切り欠き	4 12本の M3 X 7 mm プラスネジのうち 6 本 (部品番号 48-1921-01)

- a) ケーブルガイドをラックシェルフフランジの切り欠きに合わせます (上の図を参照)。
 b) ラックシェルフの背面で、12本の M3 X 7 mm プラスネジのうち 6 本 (部品番号 48-1921-01) を使用して、左右のケーブルガイドを取り付けます。

(注) ラックシェルフの背面からネジを取り付けます。

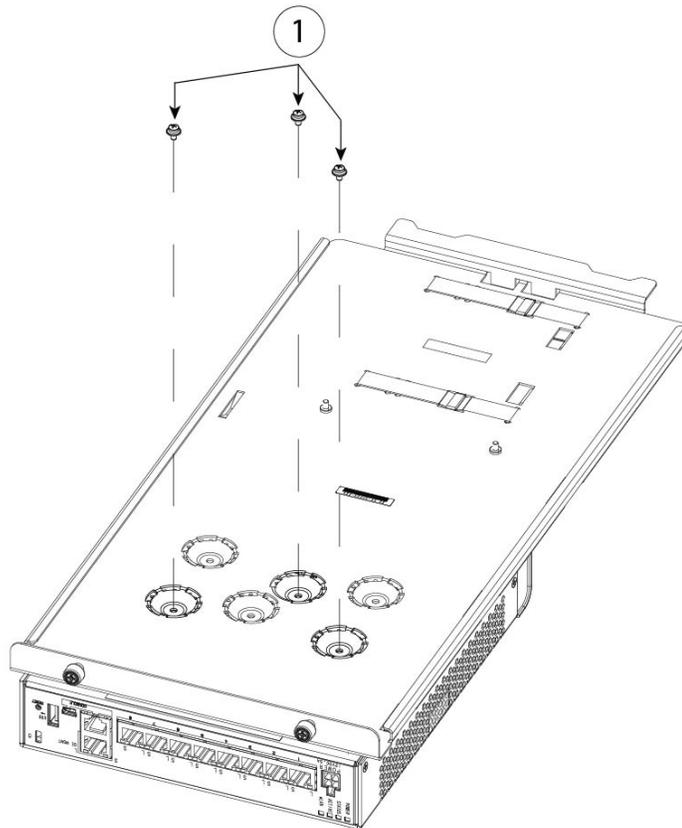
- c) ラックシェルフを脇に置きます。手順 2 に進み、スライド式ラックトレイをシャーシに取り付けます。

手順 8 の図は、ケーブルガイドが取り付けられたラックシェルフを示しています。

ステップ 2 大きな安定した作業領域で、上面を下向きにしてシャーシを配置します

ステップ 3 スライド式ラックトレイを反転し、シャーシの上に配置します。正面に向いた前面または背面パネルを使用してシャーシを取り付けることができます。

図 27: シャーシへのスライド式ラックトレイの取り付け



1	6本の6-32 X 0.25インチネジのうち3本（部品番号 48-0421-01）（必要に応じて用意）	—
----------	---	---

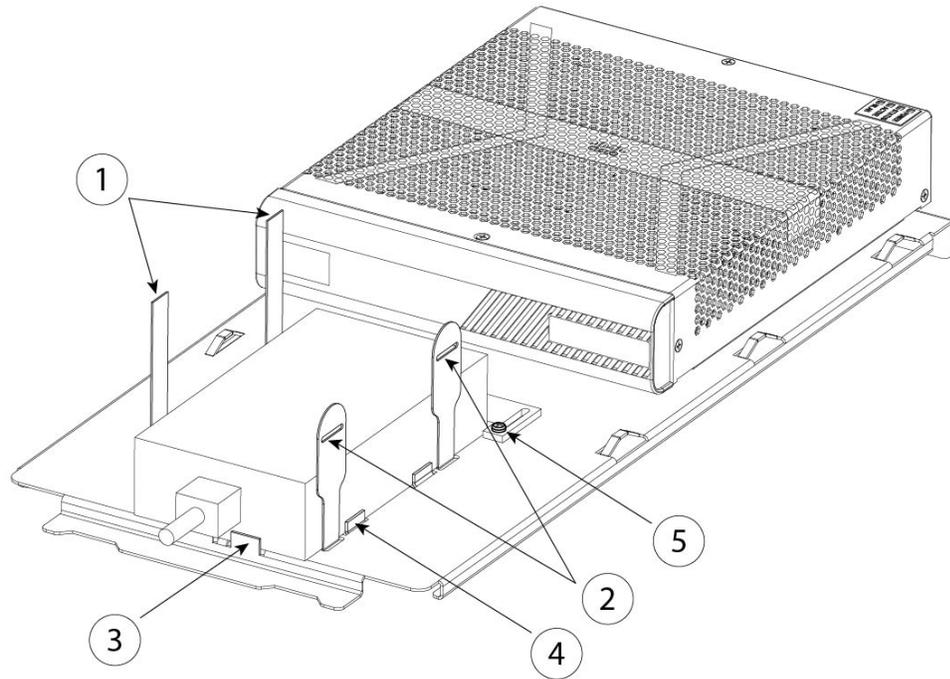
ステップ 4 シャーシとスライド式ラックトレイの位置を調整して、スライド式ラックトレイシェルフの底の窪みにある3つの取り付け穴とシャーシの下部の取り付け穴を揃えます。

ステップ 5 ネジを締めて、シャーシをスライド式ラックトレイの所定の位置に固定します。

ステップ 6 右側面を上にしてスライド式ラックトレイを慎重に回転させます。

ステップ 7 シャーシ背面のスライド式ラックトレイに電源装置を取り付けます。

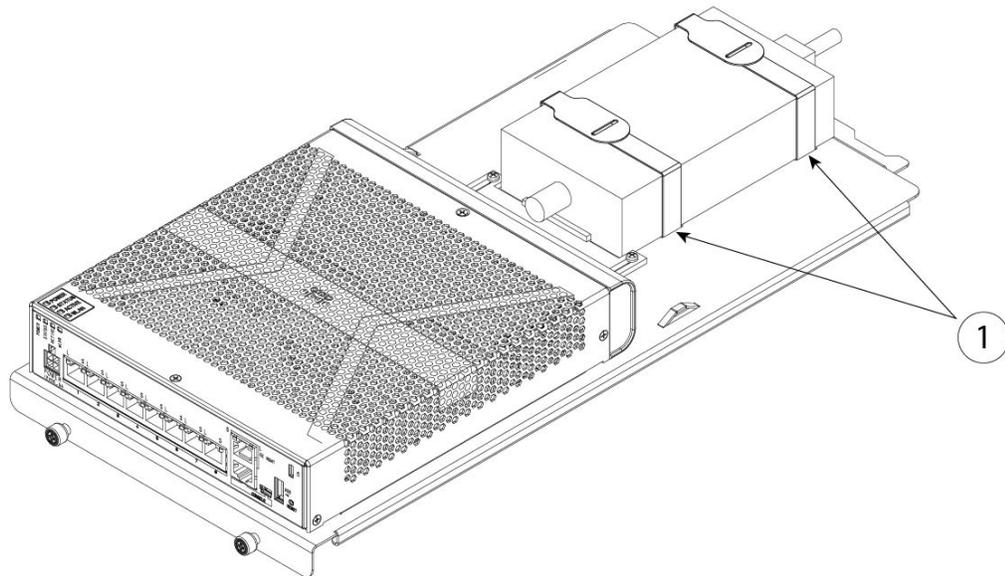
図 28: スライド式ラックトレイへの電源装置の取り付け



1	電源装置用マジックテープストラップ	2	電源装置用マジックテープストラップ
3	電源装置止め具	4	電源装置止め具
5	背面側滑り止めとネジ (滑り止めのネジ2本中の1本)		—

- a) マジックテープストラップを緩め、シャーシ背面のスライド式ラックトレイに電源装置を設置します。
AC 電源コードが背面側になっていることを確認します。
- b) 電源装置を後方および側方の止め具に合わせます。
背面側の滑り止めが電源装置に触れていない場合は、2本のネジを緩め、電源装置に触れる位置まで滑り止めをスライドさせてから、ネジを締め直します。
- c) マジックテープストラップを再度取り付けてしっかりと締め、電源装置を固定します。

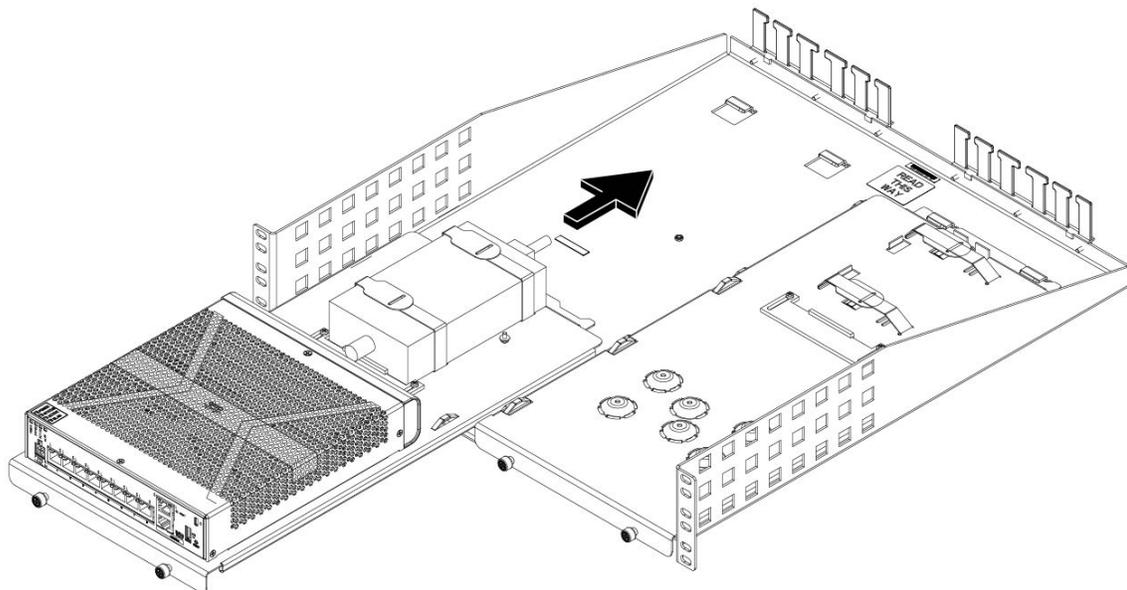
図 29:マジックテープストラップの装着



1	電源装置に巻き付けられたベルクロストラップ	
----------	-----------------------	--

ステップ 8 スライド式ラックトレイをラックシェルフの中にスライドさせます。

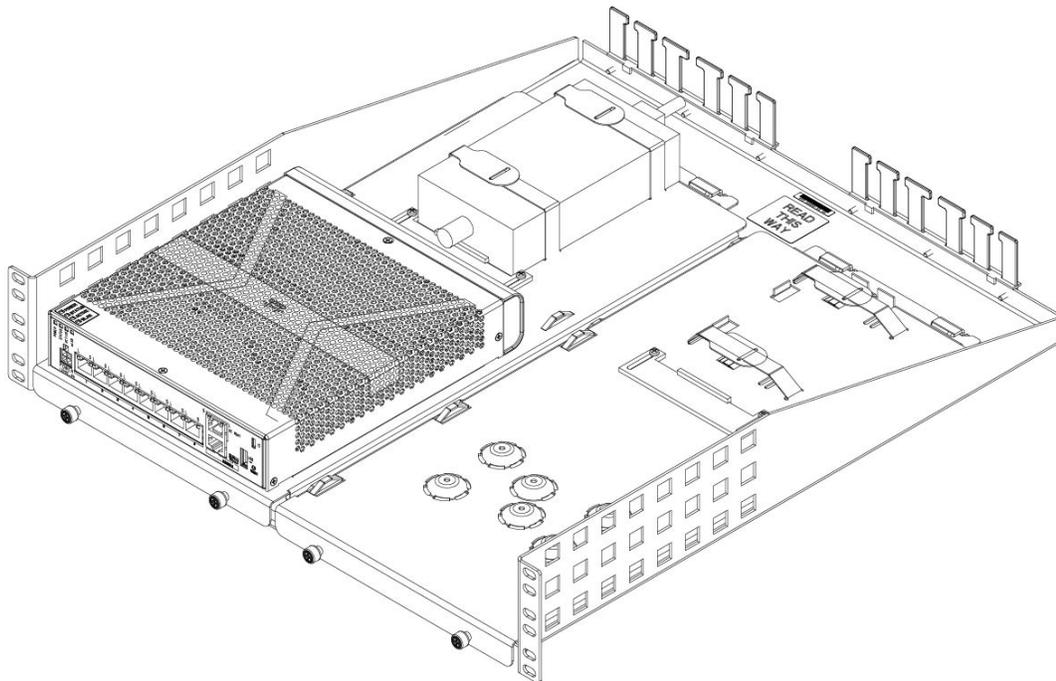
図 30:トレイラックシェルフへのスライド式ラックのスライド



ステップ 9 これで、シャーシのスライド式ラックトレイの取り付けと、スライド式ラックトレイのラックシェルフへの取り付けが完了しました。手順 1～8 を繰り返して、2 番目のシャーシを取り付けます。2 番目のス

ライド式ラックトレイとさらに3本の6-32 x 0.25インチネジを使用して、2番目のシャーシをスライド式ラックトレイに取り付けてから、ラックシェルフに取り付けます（手順3を参照）。

図 31: ラックシェルフへのスライド式ラックトレイの取り付け完了



ステップ 10 ラックのタイプに合ったラックマウントキット付属の適切なネジ（12-24 X 0.75インチまたは10-32 X 0.75インチ）を使用して、ラックにラックシェルフを取り付けます。

これで、電源コードを接続し、ケーブルガイドに通すことができるようになりました。

次のタスク

『Cisco ASA 5506-X Series Quick Start Guide』で説明されているように、デフォルトのソフトウェア設定に従ってケーブルをインストールします。

ASA 5506H-X の DIN レールへの取り付け

厚さ 7.5 mm 幅 45 mm のトップハット DIN レールを ASA 5506H-X に使用できます。取り付け面に DIN レールを約 200 mm（7.8 インチ）ごとに固定し、エンドアンカーを適切に使用します。

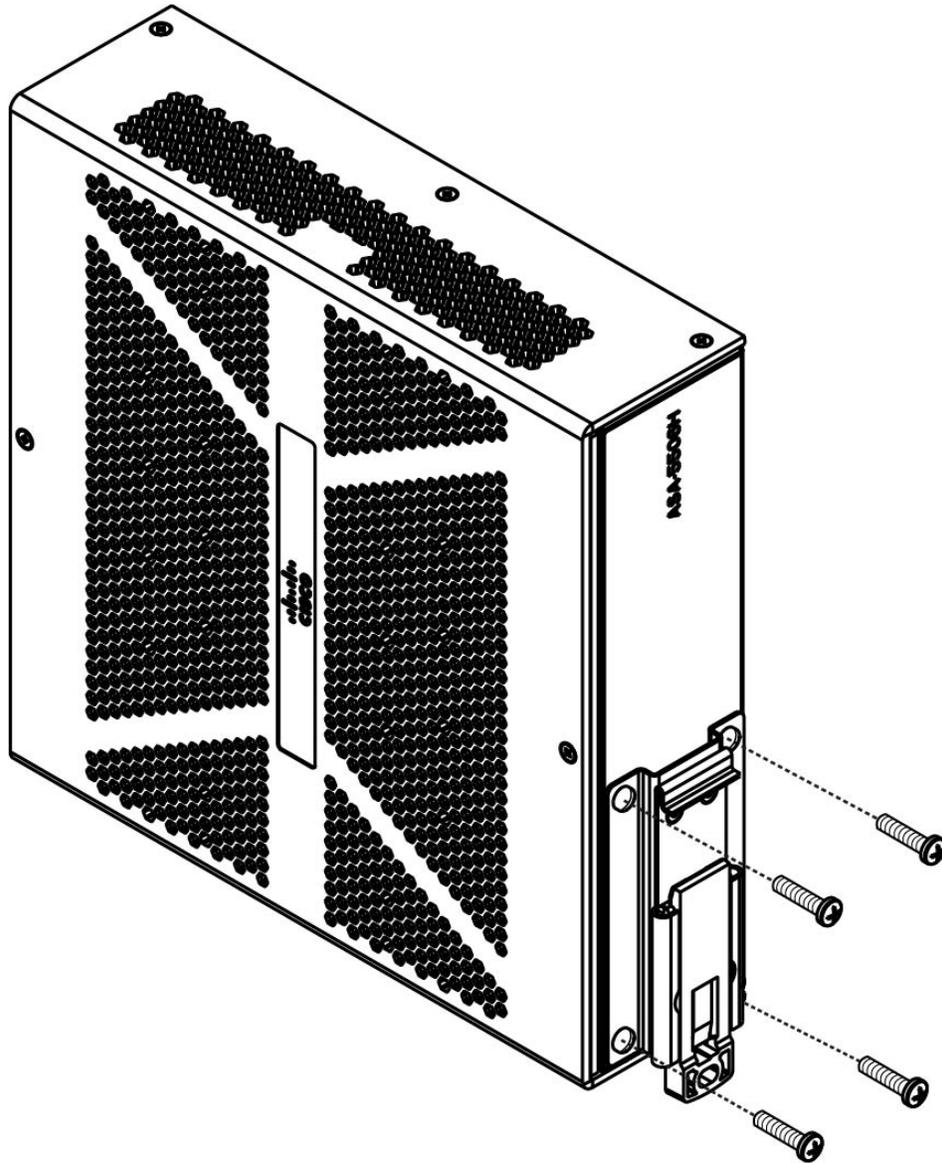


(注) 安定性を高めるために、ASA 5506H-X をスチール製の DIN レールに取り付けることを推奨します。

ASA 5506H-X を幅 35 mm の DIN レールに取り付けるには、次の手順に従います。

ステップ 1 付属の 4 本のネジを使用して、シャーシの背面に DIN レールブラケットを取り付けます。

図 32: ASA 5506H-X への DIN レールブラケットの取り付け

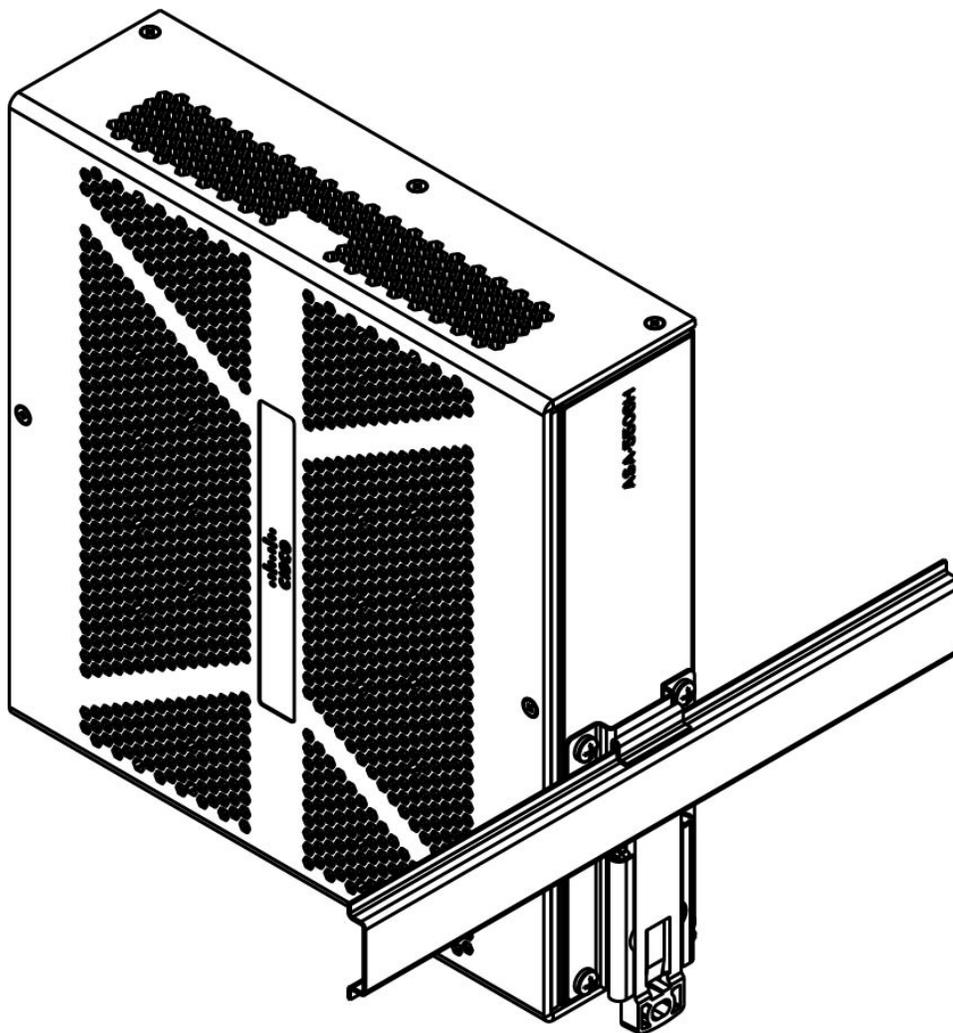


ステップ 2 DIN レールブラケットの端にある、シャーシからはみ出しているプラスチックタブを見つけます。タブを内側に押し、タブを押し下げたままプラスチックラッチを出てくるまでスライドさせ、ロック位置に置きます。

ステップ 3 シャーシを横向きにし、電源コネクタが上部近くに来るようにします。

- ステップ 4** シャーシの背面の端を DIN レールの真正面に配置し、DIN レールがプラスチック ラッチと金属製フックの間のスペースに収まっていることを確認します。
- ステップ 5** DIN レールブラケットのフックが DIN レールの上端に掛かるようにシャーシの位置を調整します。DIN レールブラケットのラッチを固定している間、一時的にシャーシの重量をフックにかけることができます。
- ステップ 6** シャーシが DIN レールの上に載ったら、DIN レールブラケットのラッチを押し上げて固定します。これにより、ラッチが閉位置に留まり、DIN レールに固定されます。

図 33: DIN レールに取り付けられた ASA 5506H-X



これで、シャーシが DIN レールに取り付けられました。

次のタスク

『[Cisco ASA 5506-X Series Quick Start Guide](#)』の説明に従ってケーブルを取り付けます。



第 4 章

コンソールポートへの接続

シリアルポートでは、コンソール端末またはPCによって、ASAへの管理アクセスを行えます。CLIを使用してASAを設定するには、ASAコンソールポートと端末またはPCとの間の接続を確立する必要があります。

- [Microsoft Windowsでのコンソールポートへの接続 \(41 ページ\)](#)
- [Mac OS Xでのコンソールポートへの接続 \(44 ページ\)](#)
- [Linuxでのコンソールポートへの接続 \(44 ページ\)](#)

Microsoft Windowsでのコンソールポートへの接続

Microsoft Windows ベースの PC を ASA の USB シリアルポートに最初に接続する際、USB デバイス ドライバをインストールする必要があります。インストールしないと接続に失敗します。

ドライバをアンインストールするには、Add Remove Programs ユーティリティまたは Setup-exe プログラムを使用します。



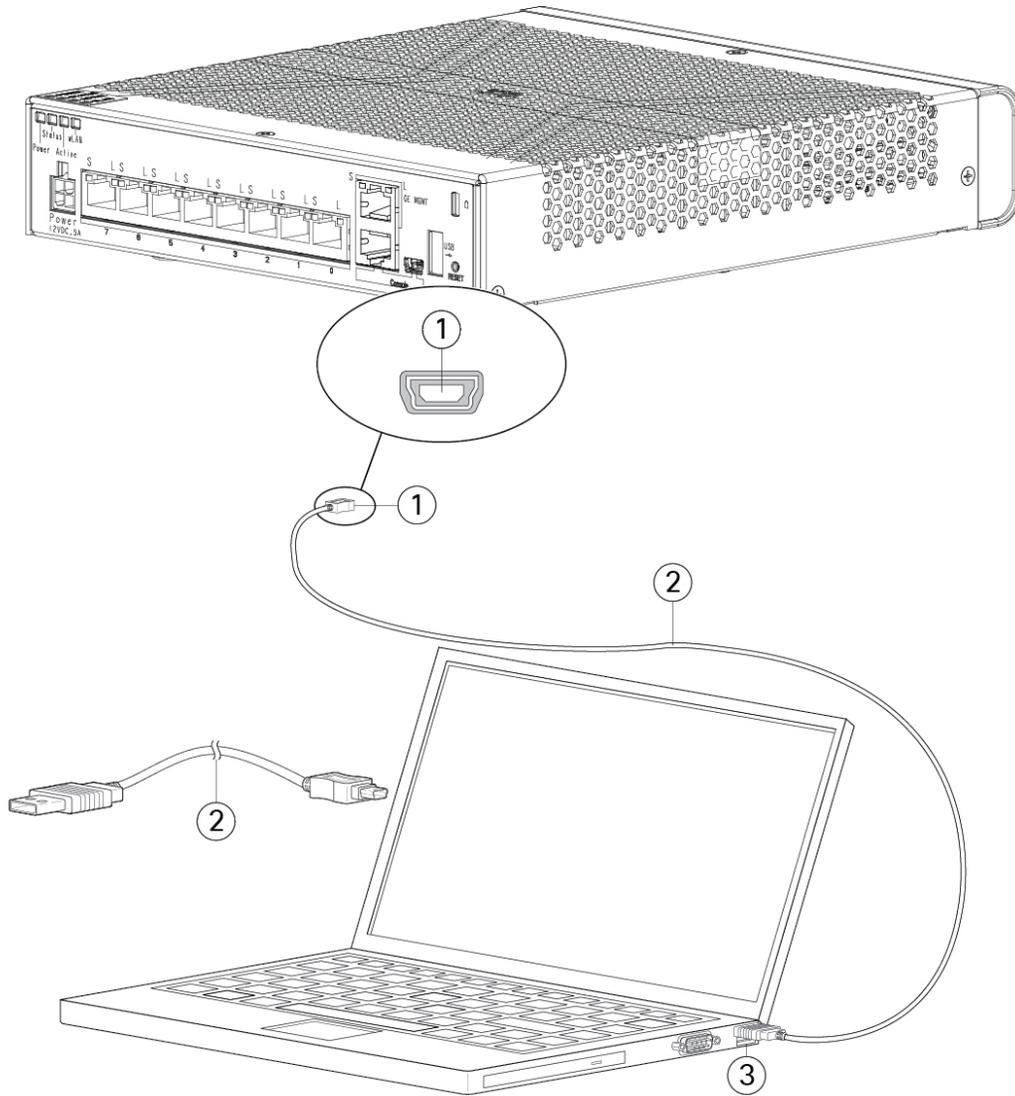
(注) ドライバをアンインストールする前に、ASA コンソール ターミナルの接続を解除してください。

ステップ 1 Cisco [Download Software](#) サイトの [USB Console Software] カテゴリから、使用している ASA モデルに対応する正しいドライバ (Cisco_usbconsole_driver_X_X_zip (X はリビジョン番号)) を取得します。

ステップ 2 ドライバをインストールします。

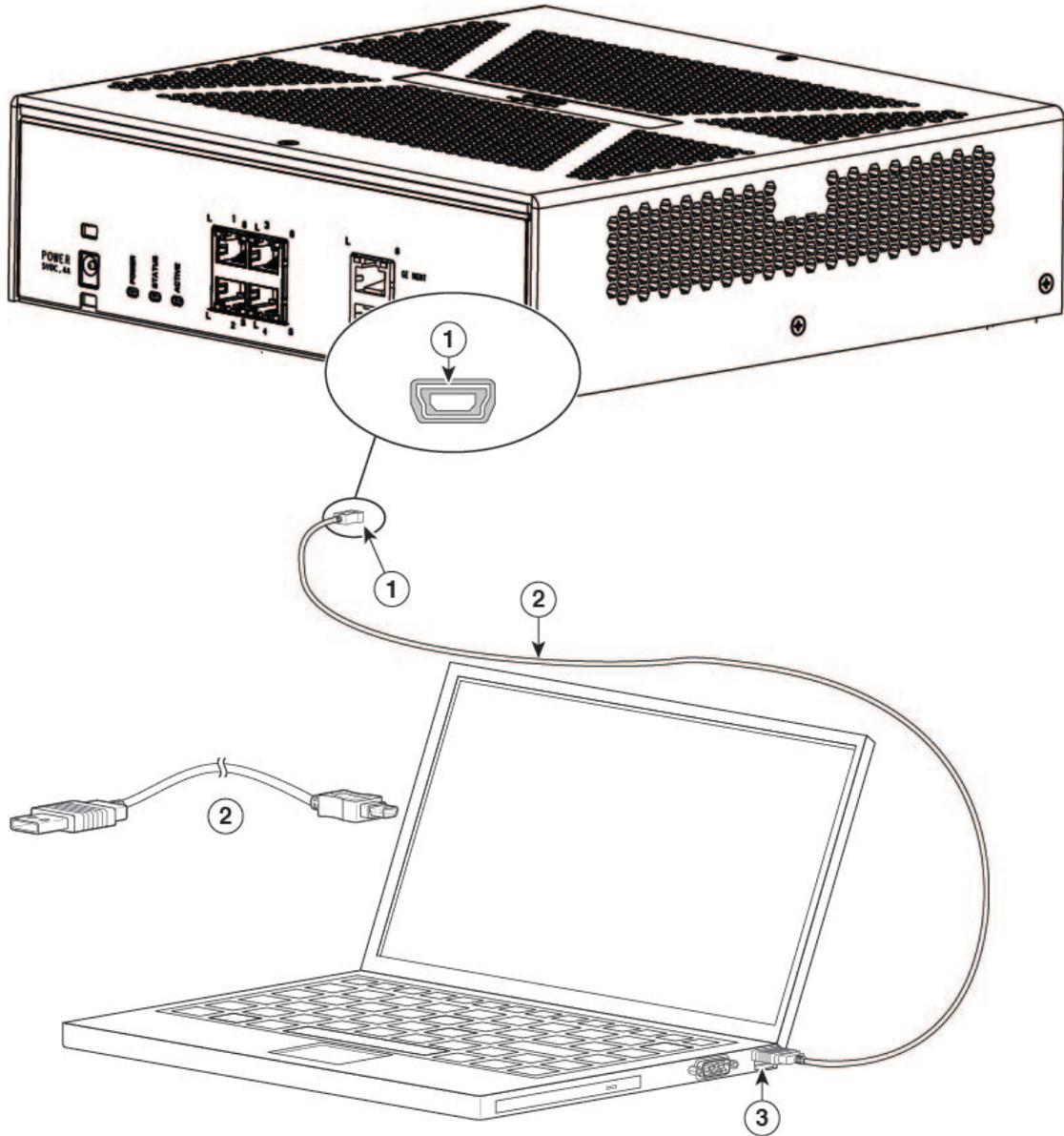
ステップ 3 次の図に示すように、USB 5 ピン ミニ USB タイプ B を USB コンソールポートに接続します。

図 34: ASA 5506-X および ASA 5506W-X のコンソールポート接続



1	ミニ USB タイプ B コンソールポート	2	ミニ USB タイプ B と USB タイプ A 間のコンソールケーブル
3	USB タイプ A		

図 35: ASA 5506H-X のコンソールポート接続



404463

1	ミニ USB タイプ B コンソールポート	2	ミニ USB タイプ B と USB タイプ A 間のコンソールケーブル
3	USB タイプ A		

ステップ 4 DB-9 コネクタ（または USB タイプ A）があるケーブルの端を端末または PC に接続します。端末または PC に DB-9 コネクタに対応しないコンソールポートがある場合、そのポートに適切なアダプタを装着する必要があります。

USB コンソールポートの LED が緑色に変わり、しばらくすると [新しいハードウェアが見つかりました (Found New Hardware)] ウィザードが表示されます。

ステップ 5 指示に従って、ドライバのインストールを完了します。

ステップ 6 ASA と通信するには、ターミナルエミュレータアプリケーションを起動します。次のパラメータを使用してこのソフトウェアを設定します。

- 9600 ボー
- 8 データ ビット
- パリティなし
- 1 ストップ ビット
- フロー制御なし

Mac OS X でのコンソールポートへの接続

組み込みの OS X ターミナルユーティリティを使用して Mac OS X システムの USB ポートをコンソールに接続するには、次の手順に従います。また、独立したターミナルエミュレータアプリケーションを使用する方法もあります。

ステップ 1 Finder を使用して、[Applications] > [Utilities] > [Terminal] を選択します。

ステップ 2 OS X USB ポートを ASA に接続します。

ステップ 3 次のコマンドを入力して、OS X USB ポート番号を検索します。

例：

```
macbook:user$ cd /dev
macbook:user$ ls -ltr /dev/*usb*
crw-rw-rw- 1 root wheel 9, 66 Apr 1 16:46 tty.usbmodem1a21
DT-macbook:dev user$
```

ステップ 4 次のコマンドに続けて ASA の USB ポート速度を指定して、USB ポートに接続します。

例：

```
macbook:user$ screen /dev/tty.usbmodem1a21 9600
```

ステップ 5 ターミナルウィンドウから OS X USB コンソールを切断するには、**Ctrl+Z** に続いて **Ctrl+** を入力します。

Linux でのコンソールポートへの接続

組み込みの Linux ターミナルユーティリティを使用してコンソールに Linux システムの USB ポートを接続するには、次の手順に従います。

ステップ1 Linux のターミナル ウィンドウを開きます。

ステップ2 Linux USB ポートを ASA に接続します。

ステップ3 次のコマンドを入力して、Linux USB ポート番号を検索します。

例：

```
root@usb-suse# cd /dev
root@usb-suse /dev# ls -ltr *ACM*
crw-r--r-- 1 root root 188, 0 Jan 14 18:02 ttyACM0
root@usb-suse /dev#
```

ステップ4 次のコマンドに続けて ASA の USB ポート速度を指定して、USB ポートに接続します。

例：

```
root@usb-suse /dev# screen /dev/ttyACM0 9600
```

ステップ5 ターミナル ウィンドウから Linux USB コンソールの接続を解除するには、Ctrl+a を押した後に **quit** と入力します。



第 5 章

設置、メンテナンス、アップグレード

・5506H-X の DC アダプタを接続する (47 ページ)

5506H-X の DC アダプタを接続する

24 V DC (製品番号 PWR2-20W-24VDC) または 20 W 20 ~ 60 V DC (製品番号 PWR2-22W-20-60VDC) のオプションの DC 電源をオーダーできます。

安全上の警告



警告 ステートメント 1005

この製品は設置する建物に回路短絡（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。保護装置の定格が 5 A、36 VDC 以下であることを確認してください。



警告 この製品は、設置する建物に回路短絡（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。一般および地域の電気規格に準拠するように設置する必要があります。

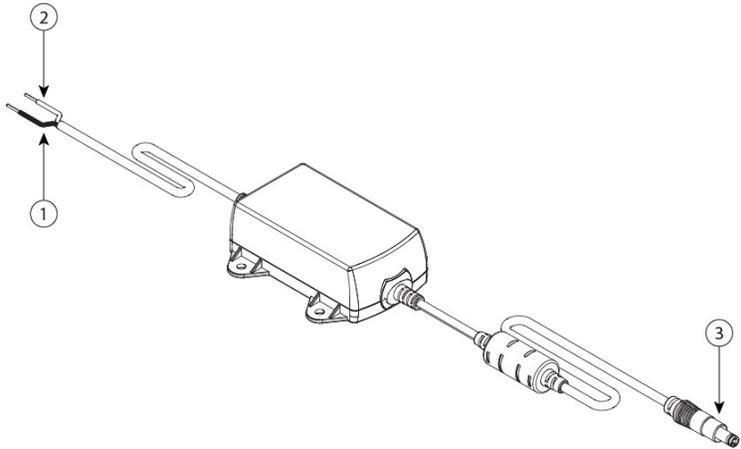


警告 この装置は TN 電源システムで動作するように設計されています。

ステップ 1 12 V DC のソースに白と黒のリード線を接続します。

黒のリードがマイナス側またはアース、白のリードがプラス側です。出力ケーブルは長さ 1.3 m で、入力ケーブルは長さ 1 m です。

図 36: DC 電源アダプタ



1	黒い線 (マイナス)	2	白い線 (プラス)
3	アダプタ		—

ステップ 2 シャーシにアダプタコードを接続します。

(注) 電源アダプタには、入力接続用の 18 AWG 線が付属しています。コネクタタイプに関して規定された標準がないため、入力接続用として、被覆を剥がしたはずメッキ線を使用します。通常、ネジ端子ブロックを使用します。

ステップ 3 シャーシの電源をオンにして、電源が入っていることを確認します。LED の詳細については、[LED \(9 ページ\)](#) を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。